



安全データシート

Page 1 of 6

LOCTITE FREEZE & RELEASE

SDS No. : 360943

v001.2

改訂: 19.05.2015

発行日: 10.01.2017

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 1024403
製品名 : LOCTITE FREEZE & RELEASE

会社名 :
ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲 14F
140-0002
電話番号 : +81 (45) 758-1820
FAX番号 : +81 (45) 758-1826

2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

危険有害性クラス
可燃性/引火性エアゾール

危険有害性区分
区分 1

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

H222 極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール
H229 加圧容器: 熱すると爆発のおそれ。

安全対策

P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
P211 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。
P251 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

製品ラベルの有害性情報は、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成、成分情報

單一製品・混合物： 混合物

危険有害成分及び濃度

成分	wt%
n-ブタン	>= 60 - < 70 %
石油ナフサ	>= 10 - < 20 %
鉱油	>= 1 - < 10 %
プロパン	>= 10 - <= 20 %

4. 应急处置

皮膚にかかった場合： 汚染された衣類や靴を脱ぐこと
発症したり症状が持続する場合、医師の診察を受けること。
流水とせっけんでよく洗い流すこと。

眼に入った場合： 直ちに多量の水で最低でも15分間眼を洗うこと。
医師の診察を受けること

飲み込んだ場合：無理に吐かせないこと。
医師の診察を受けること

吸入した場合： もし吸入した場合、直ちに傷病者を新鮮な空気のところに移すこと。
発症したり症状が持続する場合、医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤：二酸化炭素
泡
粉末薬品

火災時の分解物質：炭素酸化物
刺激性の有機蒸気。
硫黄酸化物

保護具: 火災が起きた場合は容器に散水して低温を保つ。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項:** 点火源に近づけないこと。
承認されたマスク、不浸透性の手袋、耐化学物質ゴーグルを着用する。
- 環境に対する注意事項** 下水管／地表水／地下水中に捨てないこと。
- 除去方法:** 不活性な材質のもので吸収する（例えば、砂、シリカゲル、酸性バインダー、一般的なバインダー、おがくず）。
不活性物質でこぼれを吸収する。物質を集めて処分に適切な容器に入れておく。
13項に基づいて汚染された製品を廃棄物として処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い** よく換気された場所で使用すること。
適切な保護衣、保護めがね、保護手袋を着用すること。
熱、火花および炎に近づけないこと。
- 保管:** 涼しく、良く換気のされた場所に保管する。
直射日光および50℃以上の温度を避けること。保管はエアロゾルと同様の規定を適用する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

成分	日本産業衛生学会	ACGIH
n-ブタン	500 ppm 1.200 mg/m ³ TWA	1.000 ppm TWA
鉱油	3 mg/m ³ TWA	5 mg/m ³ TWA

- 設備対策:** 通常の換気で暴露限度以下の蒸気濃度を保つことが出来ない場合は、局所排気装置を使用すること。

保護具:

- 呼吸用保護具:** 換気が十分にできない場合、適切な呼吸装置を着用すること。
- 眼の保護具:** 安全ゴーグルまたは側板付き安全眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具:** 耐薬品性で、手袋とエプロンかボディースーツのどちらかを含む不浸透性衣類を着用し、皮膚接触を防止する。

9. 物理的及び化学的性質

- 形状:** エアゾール, 液体
- 臭い:** 石油
- pH:** > 12, 50
- 融点/凝固点:** 該当なし

引火点: < 23 ° C (< 73.4 ° F)
 自然発火温度: データ無し
 蒸気圧: データ無し
 蒸気密度: データ無し
 比重: 0,65 - 0,70
 n-オクタノール/水分配係数: データ無し

10. 安定性及び反応性

安定性:

化学的反応性: 硝酸
 酸化剤と混合しないこと。
 塩素

化学的安定性: 推奨保存状態下では安定している。

避けるべき条件: 穴を開けたり、焼却または48.9 ° C (120 ° F) 以上の温度にさらさないこと。

危険有害な分解生成物: 炭素酸化物
 製品の分解で刺激性および／または毒性の気体およびガスが放出される可能性がある。

11. 有害性情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分	ばく露経路	標的臓器
石油ナフサ	特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分3		中枢神経系
	吸引性呼吸器有害性	区分1	経口	
鉱油	分類の必要なし			

一般毒性情報: 混合物としての毒性試験データは無い。

12. 環境影響情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分
石油ナフサ	水生環境有害性(長期間)	区分3

一般環境有害性情報: 下水管／地表水／地下水中に捨てないこと。

問い合わせ先: 近藤 由紀子、製品安全性及び規制業務担当

注意:

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含む、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。

MSDSの内容に関するお問い合わせ ヘンケルジャパン株式会社 製品安全性及び
規制業務担当 横浜市磯子区新磯子町27-7 TEL:045-758-1780 FAX:045-758-
1771